

ハコネギク		<i>Aster viscidulus</i> (Makino) Makino	絶滅危惧 I 類
			キク科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が極めて少ない。		写真(国立科学博物館) 標本 
形態の特徴	茎は高さ30-60cm、短毛が密生する。根出葉は開花期には枯れる。茎葉は卵状長楕円形あるいは長楕円状披針形。長さ4-7cm、幅約1.5cm、鋭頭、両面に短毛が密生する。頭花は直径約2.5cm、花柄は4-7cm。総苞は長さ約5mm。舌状花は1列で、淡青紫色。		
生態的特徴	冷温帯の林下に生育する。花期は8-10月。		
分布状況	関東地方と中部地方に分布する。岐阜県では南東部に見られる。		
減少要因	開発による生育地の破壊。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘